



▲ユニークな中尾さんのお話やクイズに楽しく食育を学習する児童たち

いただきますは、だれに

ウンチ博士の食育講演会

中部小（今泉弘校長）は6月24日の食育参観日に、『ウンチ博士』として活躍する食と環境教育アドバイザーの中尾卓嗣さんを講師に迎え、1、2年生を対象に食育講演会を開きました。『食べもののヒミツ探検』がテーマで、動物の本物の『ウンチ』を見せながら、なぜこんな『ウンチ』の形になっているのか動物の歯と食べものの種類を上手に結びつけ、児童たちの好奇心は全開でした。

「お米も野菜も果物もみんな生き物。いのちがある。みんな、それぞれのいのちをいただいて私たちは生きています。いただきますは気持ちを込めて。作った人や生き物からもらったいのちに感謝して」と児童たちに呼びかけました。

熱い指導に児童も真剣にプレー

サッカー名良橋晃さん特別授業

北部小（峯晋校長）で6月23日、「子どもの体力向上啓発事業」の一環として元サッカー日本代表の名良橋晃さんによるサッカー教室が開かれました。

教室には5年生60人が参加。ゼッケンを使った鬼ごっこでウォーミングアップし、5人1組でのボールを用いたランニング、リレーを通じてチームプレーの大切さとサッカーの基礎を学びました。名良橋さんの熱のこもった指導に児童たちは真剣にプレーし汗を流しました。

名良橋さんは「好きなことを見つけ、目標を持ち色々な人に支えられていることに感謝してください」とメッセージを送りました。参加した児童たちは「サッカーの上達の仕方がわかって良かった」と話しました。



◀練習の成果を発揮してミニゲームに熱中する児童たち

インドネシア高校生と交流を深める

東アジア青少年大交流計画インドネシア高校生訪日団32人が、2泊3日の日程で西溪中と多久高校を訪問し、市内でホームステイをしました。

西溪中では生徒会主催の歓迎式でお互いを紹介し、学年ごとに授業交流。お手玉や折り紙など、日本の子どもの昔遊びをグループに分かれて紹介して交流を深めた3年生の大塚さんは、「最初は不安だったけど、仲良くなっ



7/1

山犬原子どもクラブが田植え体験

山犬原区で生産組合と子どもクラブ合同の田植えがあり、約50人が参加しました。一斉に水田に入った子どもたちは、野口義光生産組合長らから指導を受け、田んぼの中に黒いホースで作った円に古代米をその周りに赤米、外側にヒノヒカリの苗を植えました。山犬原民謡クラブによる『佐賀の田植え唄』が杉山佐賀竹聖会会長の尺八伴奏で披露され、子どもたちは「田植え体験ができてよかった。収穫が楽しみ」と話していました。



6/25